

2016年11月22日

報道関係各位

全日本カレー工業協同組合  
All Japan Curry Manufacturers Association

## 冬もカレーをおいしく食べよう！ 1月22日を「カレーの日」に制定

全日本カレー工業協同組合（以下、カレー組合）は、1月22日を『カレーの日』として一般社団法人日本記念日協会に申請を行い、認定されました。

1月22日は、1982年、公益社団法人全国学校栄養士協議会が、学校給食週間の前に、子どもたちに好まれていたカレーを全国の学校給食のメニューとして提供を呼びかけたことにちなんでいます。

カレーは、明治初めに洋食として日本に紹介されましたが、現在では日本の国民食、学校給食の王様と呼ばれるほどに普及し、日本の食文化の一つとして定着しています。

カレーは、一皿で「ごはん（主食）」、「野菜（副菜）」、「肉、魚、貝類（主菜）」など、多くの食材をバランスよく食べられるメニューの優等生であり、カレーの基本であるスパイスとハーブは、お客様の健康志向が高まる中でますます注目を集めています。

カレー組合は、夏季には『夏の元気はカレー』をテーマに、農林水産省「消費者の部屋」特別展示において、カレーの歴史や文化、健康視点からのカレーの魅力・知識やレシピの紹介、子ども向けカレー粉作り体験教室などを開催してきました。

今回、カレー組合加盟各社での、「カレーの日」を訴求した店頭プロモーションの実施に加え、カレー組合では、カレーライスはもちろんのこと、スープカレー、カレー鍋やカレーうどんなど栄養面だけでなく、身体をあたため、厳しい冬にも健康な毎日を過ごせるメニューの提案により冬季の食卓を盛り立て、カレーの消費拡大を図ります。



「カレーの日」の制定およびカレー組合設立55周年を記念したオープンキャンペーン「『冬もカレーをおいしく食べよう』プレゼントキャンペーン」を12月22日（木）～1月31日（火）の期間で実施いたします。

